

WA-CHA

ゆちゃ

Vol. 4

2023年11月発行



「地元で生きる、はじめる、おこす」

対談

認定新規就農者

あまるめゲストハウス MOKKEHOUSE オーナー

合同会社 dano 共同代表

合同会社 dano 共同代表

YouTuber アフロリゅうじ

佐藤 裕太氏 × 伊藤 大貴氏 × 難波 竜次氏

山形いまだき若者アンケート集計結果発表！

「活動を通してあなたが得られたものは？」

- 【寄稿】地域で輝くやまがたの若者たち
- やまがたっておもしろい！ ～山形でみつけた ヒト・モノ・コト～
- 山形を届ける WEB メディア「anone.」オープン！
- スキマ時間の過ごし方 やまがたおすすめコワーキングスペース情報

地元庄内に「もっけだのく」好きだから、残していくためにを考える

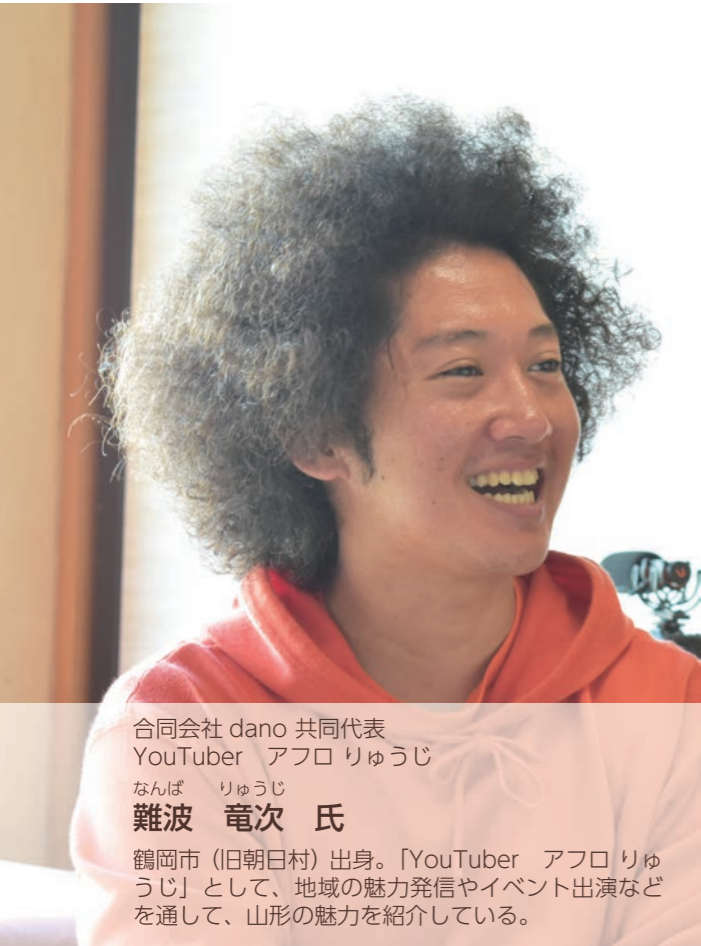
県外へ行く若者も多い中、地元を拠点に活動する3名の若者がいます。今回は「地元で生きる、はじめる、おこす」をテーマに、同級生であり、それぞれ事業を興している佐藤裕太さん、伊藤大貴さん、そして難波竜次さんに、なぜ地元なのか、地元で生きることの魅力やリアルを聞きました。



認定新規就農者
あまらめゲストハウス MOKKEHOUSE オーナー
さとう ゆうた
佐藤 裕太 氏
庄内町出身。25歳で農業を継ぎ、同時期にゲストハウス「MOKKEHOUSE」をオープン。現在は農業を主事業として、事業拡大を図っている。



合同会社 dano 共同代表
いとう ひろたか
伊藤 大貴 氏
鶴岡市（旧朝日村）出身。25歳でUターンして合同会社 dano を設立する。デジタルマーケティングや遊佐高校での場づくり支援などを主に行う。



合同会社 dano 共同代表
YouTuber アフロリゅうじ
なんば りゅうじ
難波 竜次 氏
鶴岡市（旧朝日村）出身。「YouTuber アフロリゅうじ」として、地域の魅力発信やイベント出演などを通して、山形の魅力を紹介している。

佐藤 主な仕事は農業です。今は米や大豆、花、野菜など32ヘクタールを管理しています。実家が農家なんですけど、自分の代で法人経営に切り替えていこうと準備中です。ほかに、余目駅の近くで「あまらめゲストハウス MOKKEHOUSE」の運営もしています。庄内への観光客を受け入れたい、同級生が集まったりするほか、最近では保育園留学の受け入れも始めました。

難波 合同会社 dano を大貴と一緒にやっています。「10年後の、仲間をつくる。100年後へ、念いをつむぐ。」をテーマに仲間づくりやデジタルマーケティングをする会社です。個人の仕事は、「ユーチューバーアフロリゅうじ」としての活動やWEBコンテンツの制作ですね。最近は行政と組んで、ふるさとの魅力を発信するものが多いです。タレントとしてイベントに呼ばれることもあります。

伊藤 合同会社 dano を興して5年になります。主な事業は、情報発信支援、デジタルマーケティングの伴走支援です。さらに、この地域の力を活かし、次世代の可能性を紡ぎだしていくための取り組みとして、山形大学工学部だった大貴とばったり会って。

伊藤 ほんとたまたまね。ばくも竜次が米沢いるの知らなかったし。その時すでに地域活動してたから、竜次を山生向けのイベントに呼んだり、米沢にゲストハウスを作る話があったから、誘ったりしてね。ところが入学した時期は、ちょうど東日本大震災の後で、社会的にいろんな場が開かれていて、成長機会に溢れてたんです。周囲の人から面倒を見てもらいながら、地域に入っていくって、こういう生き方がいいなって。竜次も「地元で何かやりたい」と言っていたから、共通の話題で盛り上がった。だから、共通の話題で盛り上がった。裕太とは、入学式で再会しましたね。1年生の時に地域活動サークル「チーム道草」を立ち上げたのもあって、入学式で成果発表をしたんですよ。そしたら大勢いる新入生の、一番前に裕太が座ってて。「なんでいるの!？」って(笑)。

佐藤 俺は一浪して入ったけど、大貴がいるの知らなかったし、たまたまね。

伊藤 話してみたら浪人時代にいい出会いをしたみたいで、地域活動系の話に乗ってきてくれるのが嬉しくて、ことあるごとに「裕太、空いてる？」って。

佐藤 それ嬉しかったな。高校の時は別に仲良くなかったけど、3年間同じクラスだったし、縁がずっと続いていたのかな。自分にとつての転機は浪人時代。通って

て、遊佐町で県外留學生の受け入れを行う「遊佐高校魅力化プロジェクト」のプロジェクトファシリテーターや、対話と内省の場づくりの事業を行っています。さっき竜次から仲間づくりというテーマがありましたけど、雇われていようが起業していようが、自分の物語を自分で生きている、主人公的な感覚の人が増えれば、地域は勝手に面白くなるんじゃないかなと思って活動しています。

伊藤 竜次とは小学生からの付き合い。
佐藤 俺と大貴は高校と大学が同じで、竜次とは同じ学校になったことはないけど、知り合ったのは高校生の時。でも、大貴に紹介されたわけじゃないんだよな。
伊藤 竜次はやっぱり(笑)。ぼくらの高校の学園祭に竜次が遊びに来て、同じテニションだった裕太と仲良くなった。
難波 そうそう。裕太との共通の友達もいるし。俺は高校卒業後に就職して、米沢に住み始めたんだけど、1年くらいした時から

いた予備校で、毎朝人生の哲学を学ぶ倫理の授業があつて、自分は何をしたいかを考える時間があったんです。庄内の良いところを学ぶ授業もあって、その2つがあったから、俺はこれからどうやって生きていこうかというのを本気で考えることができたなって。うちは農家だから、地元で貢献するなら、農業を継いで、農業を通じて庄内を元気にしていきたいと思うようになりました。

ゲストハウスづくりでパワー集結

佐藤 ゲストハウスを作ったきっかけは、まあ、大失恋とかもあるんだけど(笑)、自分がゲストハウスに泊まった経験から、農家が農業以外で場を作って、そこに人が集まるのが面白いなという想いがあったんです。だから、失恋の悲しみをバネに走り出して、余目駅の近くの土地付き10万円の物件を買って、とりあえずクラウドファンディングをしました。目的は3つ。庄内の農業を元気にするためには、まず農家が元気にならないといけないというのがひとつ。2つ目が、移住定住を増やしたいということ。そして3つ目が、自分の仲間を増やしたいということ。自分も、ゲストハウスがあることで同じ想いを持った人たちと繋がって仲間を作りたいというのもありました。

information

あまるめゲストハウス MOKKEHOUSE

余目駅徒歩5分の素泊まりの宿
〒999-7781
山形県庄内町余目上猿田15-22
☎ 080-9256-3420



<https://mokkehouse.business.site/>

合同会社 dano

ふるさとのココロを
世界へつなぐ



デジタルマーケティング支援事業
Web コンテンツ企画・制作事業
ふるさと発信事業

<https://dano.co.jp/>

You Tuber アフロりゅうじ

公式 YouTube

オフィシャルサイト



@afroryuji



<https://afroryuji.com/>

佐藤 残していきたい地域。自己満足と言われようが本気で向き合っていきたいし、

3人にとって庄内とは

伊藤 今の裕太の話を聞いて、満たされてるのって大事だ。自分が潤うから他にシェアできるという流れがある。補助金とか、そういうお金を巡らせる仕組みを30歳になってちゃんと使えるようになってきた。

難波 思い返すと、活動する中で、当たり前前に続いていくものが当たり前ではないと気付く瞬間が結構あった。だから動画に映りたいし、いろんな場所に行きたいんだ。この10年での気づきです。

好きなことから残って欲しい場所です。伊藤 自分が庄内に対して感謝の感情「もっけだの〜」があるし、活かしてもらったと思う。それに、人を活かせる場所だと思っただけです。ぼくは人の活躍していきま

まや能力の開花といった、その人の内側から湧き出すものに触れてたくて、庄内はそれを引き起こし得る場所だと思っ

難波 正直、地元をこたわりはなくて、ぼくは人の根底や想いに触れて紹介できると、たぶん他の地域だって活動はできると思うんですよ。でも、地元にいると、エネルギーが高まる感じがするんですよ。地元の子とも達とかに「頑張ってるね」と言われると、なぜか頑張りなさいいけないのか、何をやりたかったのかに立ち返れる。ぼくのルーツです。

故郷と関わり続ける理由と意味

伊藤 立地が良くて、集まれる公民館のようでもあるし、旅行者にとっては町へ練り出す拠点にもなっているよな。

佐藤 作る時も2人に助けてもらいました。不要な小屋の解体の時とか、どうしたらいいかわからなくて、金づち一本で向かったからね。

難波 屋根を剥がすのに釘抜きしなきゃいけない。バルとトンカチ持ってとりあえず登ったら、隣のおっちゃんヘルメット貸してくれたんよ、野球の（笑）。解体するときは同級生で集まって、引張って倒した。

佐藤 久々に会うような同級生も協力してくれて、大きな活動の輪になった。難波 そうやってたまに会うから、頑張っている同級生を意識して、俺も頑張ろうって思えるのかも。

ない」というのは「地域に仕事をつくる」ことで解決するのではと思っ、地元でお金を回すことが地元に住み続けるために必要なことなんだと気づいたんです。卒業後は視野を広げようと、5年で戻るとも東の会社に就職しました。結局2年で辞めたけど（笑）。

難波 大貴がこっちで起業するって話を聞いたから、俺も「会社を辞めてユーチューバーやる！」ってまずは勢いで（笑）。

伊藤 起業する時に童次と「10年後の仲間をつくる。100年後へ、念いをつむぐ」という理念を決めました。

ぼくの家の近くに400歳の即身仏さんがいるんですけど、庄内って数百年超えてくるストーリーが結構あって、この地に先輩方がいた気配を感じることも支えになっています。「おもい」も「念」の字を当てていて、死後残るものに自分はロマンや希望を感じるので立てたテーマでした。

ただ、自分ができる仕事はデジタルマーケティングだから、5年間その業でやってきたけど、主人公を増やすためにはそれではないのかと最近よく考えます。正直、な

んで地元で活動しているのかと言え、一番、自分を活かしやすいからかもあって、ぼくらがアクセスできる人脈、歴史、話せること、想い出がある。都会じゃただの20代だけど、ここにいれば話せることがたくさんある。地元は間違いなく好きだし、

好きだという話ができるのも得たなって。せっかくある自分の人生資源を使わないのはもったいないね？ みたいな。

難波 ぼくは少し大貴とは違って、いろんなものに光を当てて、その光を輝かせたい。なぜ即身仏になったのかは聞けないけど、きっと他者や地域のためだと思う。そう考えていた大人がいたということ。皆が知らないままでいるのが嫌で、それこそ裕太の地域への想いとか、それを伝えるための伝え手として俺はいたい。根底は「紹介したい！」っていう思いですね。

佐藤 自分は、ゲストハウスが目ざされがちだけど、農業のほうが気持ちが大きいです。農家として大規模経営を目指しているのも、農家の平均年齢が今68歳くらいで、この先団塊の世代が辞めていくと、この庄内平野という超優良農地が廃れてしまう可能性があるから。農業は景観維持にもなるし、水田はダム機能を持つてる。これは守っていかないといけないことだと思うんです。そのためには農業もパージョナリティとしていかなきゃいけないから、設備投資もガンガンやっています。これまでは、農地の面積を増やして自分が幸せになることがテーマだったけど、今は自分だけ幸せになっても面白くないと思う。だから、土地生産性を高める努力をして、規模を拡大できるだけの体制を作り、従業員に高い給料を払って、町にお金を落としてもらおうよ

な仕組みを作って地域貢献をしていきたいというのが、今の考え。目標は35歳まで（残り5年以内）に庄内地方を中心に100ヘクタールの経営を実現すること。規模拡大に伴い夢を共有できる仲間も増やし、ちゃんと儲かるかっこいい農業を実現し、地域を守っていきます。補助金も貰っているから、生産性を高めて税金を町にたくさん納めることも仕事だと思ってるし。今、法人化も考えていて、会社を作って、同時に人材派遣業もしよう。ゆくゆくは農業生産

※朝日村は2005年に合併し鶴岡市となった。



若者支援コンシェルジュ

山形県に在住または所縁のある若者の地域活動を応援する事業です。一人でも多くの人と課題を共有することで、解決の糸口が見つかる可能性が広がります。

- なんでも相談窓口
- 若者サポーター
- 若者の交流の場づくり
- 情報発信

若者のみなさんの地域活動を応援しています！

◎ まずは話してみよう

☎ 080-4732-3804

なんでも相談窓口（平日 9:00 ~ 19:00）

check! イベントや支援情報など情報もりだくさん！おこしあいネット <https://yamagata-okoshiai.net/>

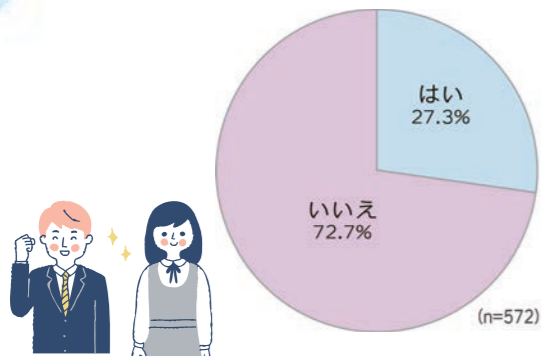


- ★メールマガジン 毎月5日発行中!
- ★SNSもあるよ! @wakamonoshienc

若者支援コンシェルジュ事務局
〒990-0832 山形県山形市城西町5丁目29-19 (AISOHO 株式会社内)
TEL 080-4732-3804 (平日9~19時) FAX 023-673-0703
令和5年度若者支援コンシェルジュ事業 (山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課)

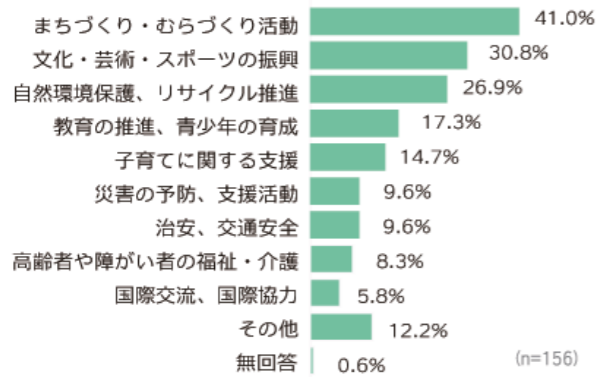


◆ あなたは地域のための奉仕的な活動をしていますか？

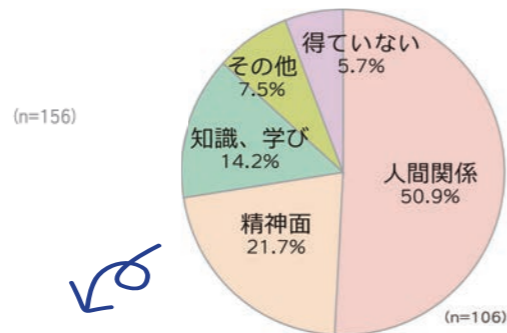


「はい」と答えた方に、「あなたがその活動をするようになったきっかけは何ですか？」とたずねたところには「おもしろそうだったから」(32.7%)「必要だと思ったから」(32.1%)「依頼されたから」(29.5%)「社会のために何かしたいと思ったから」(26.9%)という結果でした。自発的に参画している人の割合が高いようでした。

◆ 「はい」と回答した方にお聞きします。それはどのような活動ですか？



◆ 「はい」と回答した方にお聞きします。その活動をして、あなたが得られたものは何だと思いますか？（記述回答）



「人や地域とのつながり・人脈」「充実感」「新たな考え方」等の回答が寄せられました。

《人間関係》

- ・人や地域とのつながり、人脈 (21)
- ・コミュニケーションの幅が広がった (11)
- ・良好な近所関係 (4)
- ・地域の人からの信頼、友愛 (3) など

《精神面》

- ・充実感、楽しさ
- ・人生経験
- ・自己効力感
- ・心の豊かさ。
- ・地域の愛着、街を綺麗に保ちたいと思う気持ち など

《知識、学び》

- ・より地域を知ることができ、好きになれた (2) など

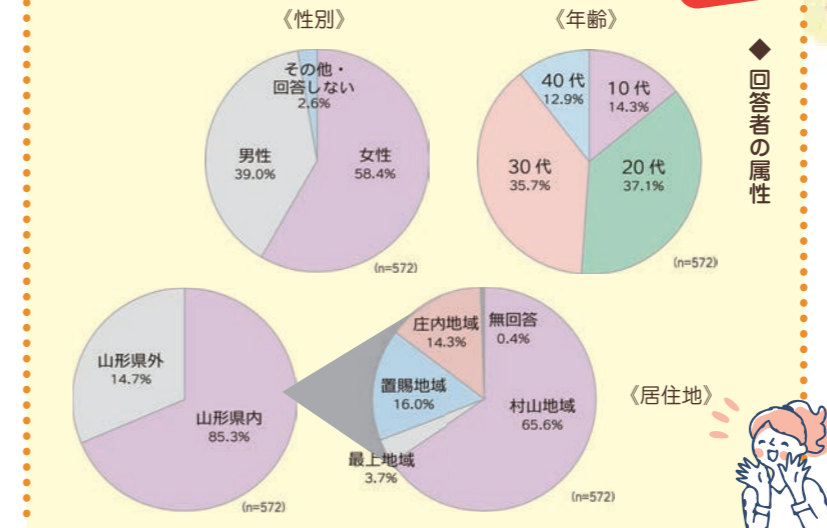
《その他》

- ・健康 ・報酬 ・地域美化
- ・子供の未来 など

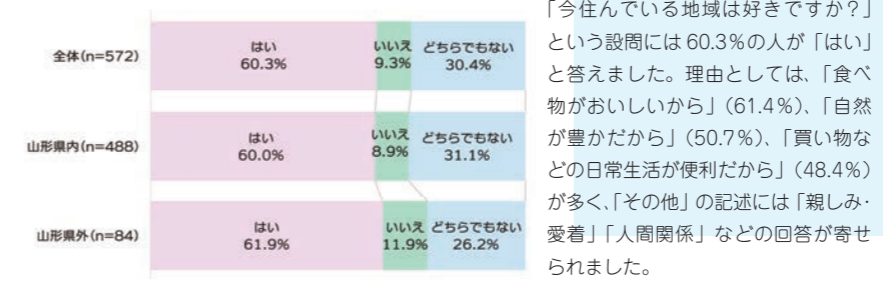
アンケート結果の一部を抜粋して掲載しましたが、いかがでしたでしょうか。回答ひとつひとつに若者のみなさんの思いや考えが込められており、山形が抱えている課題や方向性が見えるような気がします。今後の山形でのくらしや地域活動のヒントになれば幸いです。ほかに興味深い内容が盛りだくさん！ウエブサイト「おこしあいネット」に掲載していますので、ぜひご覧ください。最後に、アンケートにご協力いただきました572名の皆様に心より感謝申し上げます。

けっかはっぴよ～！

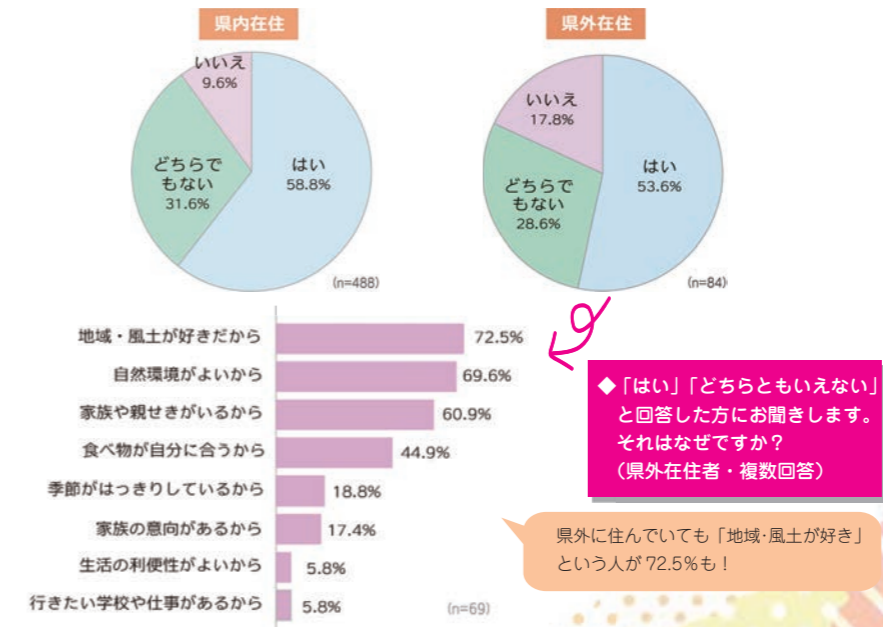
若者アンケート 2023



◆ 今住んでいる地域は好きですか？



◆ あなたは将来（今後も）、山形に住みたいと思いますか？



若者支援コンシェルジュでは、山形県に縁のある16歳～40歳位までの方を対象に、ウエブアンケートを実施しました。（調査期間：令和5年8月15日～令和5年9月14日）回答者数は、572人となり、さまざまな意見が寄せられました。アンケート結果より、一部を抜粋して掲載します。

詳しい結果はこちらから



地域で輝く やまがたの 若者たち

enjoy!
yamagata

地域の課題解決や、自身の経験を生かして誰かの役に立とうと、活動を始める人がいます。このコーナーでは、若者支援コンシェルジュがこれまでに会った、熱意ある若者のみなさんに、活動内容や地域への想いを寄稿いただきました。



あなたも、家族も、地域も、HAPPYに！

HAPPY LIFE 薬剤師 今井 隆裕さん



(ホームページ)

Contact

smile.pharmacist.119@gmail.com

★活動内容

今年の7月から、会社員(薬局で働く薬剤師)をしながら、個人事業主としても活動を始めました。主な活動は講演と派遣・コンサルティングです。薬局薬剤師として20年近く働いた知識と経験をもとに、地域のサロンや健康講座でお話したり、医療・介護職の皆様にもむけての研修の場でお話しております。薬局向けには、業務のお手伝いをしたり、在宅医療や地域活動のアドバイスをしております。ちょっと変わった活動として、学生時代から続けているジャグリングもしています

★これから

個人事業主になった目的の1つは、会社に頼らずに地域貢献を事業とすることです。今はまだ、個人事業主としての活動は少なく、会社員としての働きがメインとなっていますが、まずはその比率を半分ずつにできれば良いなあと考えています。薬局薬剤師として働くことも大好きなので、そのうえで地域での活動が事業として成り立つたら幸せです。会社員+個人事業主という新しい働き方を作り上げ、後輩薬剤師の新しい道も作れたら最高ですね！

(笑)。関わる皆さんを幸せにする活動を心掛けています！

★地域への想い

薬局薬剤師として働いているうちに、地域医療を支えたいという気持ちが芽生えてきました。【薬局⇨処方箋を持っていて薬をもらつところ】というイメージの方も多いかと思いますが、実はご自宅に訪問する在宅医療や、サプリメントの相談やちょっとした不調に対応するセルフメディケーション、地域住民の健康を支えるための健康教室など、薬局でやれることはたくさんあるんです！ 個人事業主として、このような地域活動に積極的に取り組み、地域の皆さんの役に立ちたいと思っています。白衣を着ていないときも頼られたいです。

地域を元気にするみなさまを応援します！

若者サポーターは、地域を元気にする活動をしている、またはこれからしたいと思っている若者のみなさんを応援するために作られた制度です。これまで「団体の作り方を知りたい」、「機材の操作方法が知りたい」、「起業したい」、「一緒に交流活動してほしい」など、さまざまな依頼がありました。

現在は 34 名の若者サポーターが登録しています。地域活動実践者で、みなさんよりちょっとだけ先輩の若者サポーターが、あなたの困りごとや迷いごとと一緒に考えてみます。

- サポートの内容: 地域を元気にする活動をするための相談やアドバイス、実践など (単なるお手伝いはご遠慮ください)
- サポートの時間: 1 団体 (1 人) あたり 6 時間まで
- サポートの料金: 無料
- お申込み方法 : ウェブサイト「おこしあいネット」のお申込みフォームから送信するか、若者支援コンシェルジュまでお電話ください (TEL 080-4732-3804)。



cocotomo ～ここへきてともにはじめよう～

子育て支援団体 cocotomo 大泉 まりさん



(Instagram)

Contact

myall.a.love@gmail.com

★活動内容

山形県の子育てママのニーズに答えるために、決まった拠点を設けず、各市町村で飲食店を間借りし、子連れで楽しめるイベントと合わせた見守りランチ会を月2回程度実施しています。託児ではなく、お母さんの目の届く位置にキッズスペースを作り、お母さんが食事している間、お子さんをつたつやボランティアの大学生と共に見守っています。また子育て支援や地域の繋がりを大切にしている方々と一緒に子連れで楽しめるイベントを企画し、マルシェでは工作ワークショップ

★これから

イベントを山形市中心に活動してきましたが、子育て支援は山形市近郊の市町村でも求められています。今後は「どこでもcocotomo」として、地域のカフェとコラボしてイベントや見守りランチ会を行っていく予定です。山形で子育てをしているママやパパ、そして応援してくれているおじいちゃん、おばあちゃん、地域の方々と共に子育てを支援していきたいと思えます。そして、子育て世代以外の方とも繋がり、世代を超えいろいろな方が活躍できる場としてイベントの企画なども行っています。

★地域への想い

山形県内は無料の児童遊具施設が充実していますが、お母さんがゆっくり食事できるような子連れで気軽に行けるお店が多くありません。普段は子ども優先で、「ゆっくり食事も取れない。自分の時間が持てない。子育ての不安や困っていることを話せる相手がない。一人で出かけるのは罪悪感を感じる。」そんな孤立しがちなお母さんたちがほっと安心して美味しい食事をゆっくり食べてほしい。そんな想いで活動しています。子育てしやすく、自分にとって安心する居場所、人と繋がる場所がたくさんある山形になってほしいと思います。

修行中の坊主

西川町地域おこし協力隊 中川 拓夢さん



(Instagram)

Contact

090-9984-1035

★活動内容

現在、山形県西川町で地域おこし協力隊をしながら、京都市の北区で起業家シェアハウスの運営をやっています。西川町では空き家を活用し「たじもと食堂」という地域の方々に向けた食堂の運営や除雪や地域のお困りごとを解決するインターンを受け入れたりしています。他にも大井沢にあるサウナ材の運営や町のイベントのお手伝いなどもしています。

★地域への想い

西川町でいいなと感じることは、町民がこの街を本気で良くしようとする情熱があることです。30代から60代まで幅広い世代が主体性を持って行動している。例えば地域のママさんたちが子どもたちに向けたイベントを月1回程度のペースで開催したり、町長と町民との対話会では参加者が多いのも嬉しいこと、どんな意見が出るかがすごい。これだけ町民一人ひとりがこの町を本気で良くしたいと思っているのは珍しい自分も負けてられない。

★これから

今後の展望としては西川町に若者を呼びたい。西川町は高齢化が進んでいたり、高校、大学が無いということもありなかなか若者がこの町に残ることがない。そこで僕は空き家を使って若者が集まれる拠点を作りたい。その中で出た意見や思いなどをどんどん形にして面白い若者がたくさん生まれる町にしたいです。



地域活動 Aちゃんが行く！

漫画 かみむらゆう
神村侑



やまがた おこしあいネット

では 支援制度情報や、イベント情報、プレス情報など、若者のみなさんの地域活動に役立つ情報を掲載しています。



各市町村の支援制度情報



イベント情報



若者支援コンシェルジュ



取材記事や交流会の様子などをアップしています。ぜひご覧ください！

やまがた ~山形で見つけた「ヒト・モノ・コト」~
って おもしろい!

もう山形を「なにもない」なんて言わせない！ 山形を楽しむため、もっと住みやすくするために活動する方々が、実はたくさんいます。このコーナーでは、これまで若者支援コンシェルジュが取材したみなさんをご紹介します。

絵本作家 ラーワーちひろさん「ありのままの子どもたちを愛して」と伝えたい(鮭川村)

4年前、鮭川村に家族で移住し、絵本作家やイラストレーターとして活躍されているラーワーちひろさん。その絵は、おしゃれて可愛らしいけどどこか懐かしくて温かいと人気です。その人となり絵の魅力を探るべく、取材にお伺いしました！



山形市でナリワイづくりの講座がスタート！(山形市)

自分の得意なことを活かして、小さなことから始める「ナリワイ」。そのノウハウをみんなで勉強する連続講座が、10月7日から山形市でスタートしました。そのキックオフイベントとなる講座「わたし×ささいな困りごと=地域ではじめて小さなしごとづくりセミナー」をレポートします。



ヤマガタ「マンナカ」ニイガタ！県境で反復横跳び大会(鶴岡市)

令和5年6月17日、山形県と新潟県の県境で、WBHA(世界境目で反復横跳び協会)主催の「第1回 世界境目で反復横跳び大会in 羽越」が開催されました。県境で、反復横跳び...なんだか楽しそう！ ということで、行ってきましょ！



学校の垣根を超えた一体感「山形まちなか文化祭」(山形市)

高校生の大事な思い出の一つである「文化祭」。通常学校単位で行うこの催しを、学校という垣根を越えて開催しようというイベントが、9月2日(土)と3日(日)に山形市のAZ七日町内にある山形市中央公民館にて行われました。高校生が作り上げる、高校生のための文化祭への想いを聞きました。



米沢にわくわくを！ わさまるしえ(米沢市)

「今の米沢の子どもたちが、20年後もここ米沢で、毎日楽しく過ごしていて欲しい」をコンセプトに、始まったのが米沢の「わさまるしえ」です。運営するのは地元の方々。多くがお子さんを持つ親で、だからこそ「子どもたち」への心遣いがたくさんあります。



上山市の仕掛け人！「かみのやまランドバンク」が手掛ける空き家対策(上市市)

「一緒に町づくりをする担い手を育て、プロデュースをする広いプラットフォーム」上山市の空き家問題を、何とかしようと活動する「NPO法人 かみのやまランドバンク」さんの取組を取材しました。



anone.



https://yamagata-anone.jp/

8月から各グループで活動を開始し、「友達に話したくなる山形」をテーマに、アンパサダーの皆さんが経験してみたい・話を聞いてみたい企業やお店・地域の人を取材してきました。
WEBメディア「anone」では、アンパサダー自身が記事・動画を作成し、若者視点で見つけた山形の魅力を発信しています。
一緒に #山形あのね で自分の好きな山形、仲良しの友達に教えたい山形をシェアし合い、#山形あのねの輪を拡げていきましょう！
令和5年度
やまがた魅力発信アンパサダー事業
事務局：やまがた魅力発信アンパサダー運営事務局
(株式会社山形アドビュロー内)
主催：山形県しあわせ子育て応援部
多様性・女性若者活躍推進課

友達に話したくなる山形を
見つけに行こう



check !

山形を届ける
WEBメディア
「anone.」オープン！

#山形あのね
@yamagata_anone

スキマ時間の過ごし方

やまがたおすすめ

コワーキングスペース情報



presented by 新しい働き方コンソーシアム

▲県内のコワーキングスペースを
オンラインで常時接続しています。

スタートアップステーション・ジョージ山形

〒990-8580 山形県山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル2階
☎023-666-6100

山形駅直結の霞城セントラルビル2階にあるコワーキングスペース。快適なワークスペースを提供するほか、起業・創業のためのマインドサポートや、ビジネスアイデアの具現化を進める無料の相談窓口を常設しています。



Nagai Coworking Space +2 (プラスツー)

〒993-0011 山形県長井市館町北6番27号タスパークホテル2階
☎0238-88-1833

フリーアドレスのオフィスで、1時間からご利用いただけます。学割もありますので自習室としてもおすすめです。会議室はモニター付きなので、プレゼン資料を投影しながらの打合せも可能です。その他、半個室ブース、無料ドリンクサーバー、人気ビジネス書籍を取り揃えております。

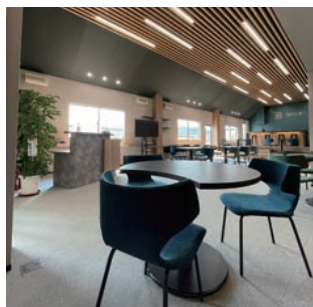


Instagram

ローカルイノベーションベース COGO Works

〒992-0011 山形県米沢市中田町751-1
(米沢総合卸売センター内)

人生をもっと楽しめる働き方ができる場所として、異業種・好相性な幅広い世代同志が集まり話し合えることが当たり前になるような場所を目指しています。未だ見ぬ繋がりをCOGO Worksで共に創造しましょう。



《編集後記》

対談のために庄内を訪れましたが、のどかで、なんとなく広くて、山形市とはまた違った空気を感じました。土地によって少し違うというのも、山形の良いところです。

(かいな)

事務局でお仕事をさせていただいて1年、地域活動をしているみなさんが何とキラキラしていること！そしてここ山形の魅力を改めて、そして多面的に気づかせてもらった1年でした。

(しばみ)

元気な若者さんを見ると、こちらまで何か始めたくなってきました。

(のん)

山形にはおもしろくて楽しくて、味わい深い人や活動がいっぱい。それからあったかい活動も。私は何ができるかな。(かいはん)

【Special Thanks】

イラストレーター…神村侑(かみむらゆう)
山形市出身。温かく可愛いイラストと漫画を描いています。最近の癒しはパンプを聴く事とぬいぐるみに埋まる事。



▲作品はこちらをチェック！

【制作・発行】

若者支援コンシェルジュ事務局

〒990・0832

山形県山形市城西町五丁目29・19

(AISHOH株式会社)

TEL 080・4732・3804

FAX 023・673・0703

【委託先】

山形県しあわせ子育て応援部

多様性・女性若者活躍課